

佐久間 裕秋ゼミナール【経済-3 クラス】

【題目】先進諸国経済と金融・財政システムの研究

【到達目標】経済、財政、金融について自分なりの視点を持ち、議論に参加できることを目標とする。

【講義内容】情報技術の発展はグローバルなマネーの動きを加速させており世界の金融資本市場システムは変革を迫られている。本ゼミでは、主要先進国の金融資本市場の変革の動きを各国のマクロ経済、財政システム、資金循環の動向を踏まえつつ探っていくことを狙いとする。各国金融資本市場における金融機関経営戦略、監督規制動向、新金融技術開発の動きについても視野に置くこととしたい。

【授業計画】

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 発表と討論
- 第3回 発表と討論
- 第4回 発表と討論
- 第5回 発表と討論
- 第6回 発表と討論
- 第7回 発表と討論
- 第8回 発表と討論
- 第9回 発表と討論
- 第10回 発表と討論
- 第11回 発表と討論
- 第12回 発表と討論
- 第13回 発表と討論
- 第14回 発表と討論
- 第15回 研究計画の発表

【身に付くように意識している汎用的能力】

知的好奇心	◎
本質を理解する力	◎
論理的に考える力	◎
多様性を理解する力	◎
チームワークよく成し遂げる力	○
様々な人と対話する力	○
他者の立場と痛みを感じる力	○
意志や情報を発信する力	○
自ら行動する力	○
自己を受け止める力	◎
自己反省する力	○
自信を生み出す力	○

【教科書】演習中に指示する。

【参考文献】「変動する世界の金融・資本市場」上巻、日米欧編 国際金融情報センター編 金融財政事情研究会、日本銀行調査季報、BIS年報、IMF年報、OECD, "Economic Outlook"等

【評価方法】ゼミでの発言、報告、討論への参加。レポート。

【履修の条件】(1)欠席をしないこと。(一定以上の欠席は単位取得を認めない)

(2)討論に積極的に参加すること。

(3)日頃から経済紙、専門雑誌などに目を通すなど、問題意識を持ち各自のテーマに取り組むこと。

【聴講生・科目等履修生受入】否

【他学科生・他専攻生受入】可

【他学部生受入】否

【当該科目に関連する開設科目】なし

【使用言語】日本語

【担当者からの一言】日本経済新聞、Financial Times, Wall Street Journal, Economist など経済専門紙にふれるなど、問題意識を高めることを期待する。